

第3回 ごちゃまぜ運動会

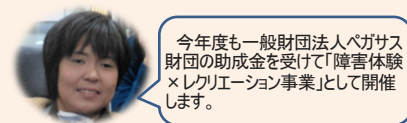
11月30日(土)10時～16時 開催
会場：名古屋産業大学 体育館
(尾張旭市新居町山の田3255-5)



【マイ♡リハ編集部から】
代表の押倉俊恵さんには、これまでマイ♡リハにご自分の食事の工夫、特に嚥下食のアイデアを紹介いただきました。チャオウォーカー歴14年目の作業療法士さん。NPO法人ピース・トレランスを立ち上げて2017年からユニバーサルな運動会を通して障害を広く理解できる場を企画、運営されています。専門職と障害当事者のかけ橋となるkeypersonのお一人です。

特定非営利活動法人作業療法支援ネット 2019年秋号 (4)

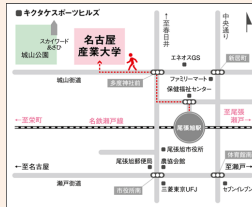
NPO法人ピース・トレランス代表
押倉俊恵さんからのメッセージ



今年度も一般財団法人ベガサ
財団の助成金を受けて「障害体験
×レクリエーション事業」として開催
します。

ごちゃまぜ運動会とは、障害のある・なし、年齢、性別などに関係なく誰でも参加でき、一緒に楽しむことができるインクルーシブ(=ごちゃまぜな)運動会です。

今年もたくさんの方に楽しんでもらいたいと思っています。
8月1日より実行委員会を立ち上げて準備を始めました。
実行委員一同、今年もみなさんと一緒に運動会をできることを楽しみにしています。
第3回ごちゃまぜ運動会・実行委員会の進捗は、Facebookをご覧ください。



会場まで名古屋からのアクセス:

栄町駅から尾張旭駅まで
名鉄瀬戸線 尾張旭駅から徒歩7分

2019年度 ワンコイン・セミナー

回・日時	テーマ	場 所
第1回 10月24日(木) 14:00~16:00 (受付13:30~)	作業療法の調理(災害時非常食体験): レトルトパックや缶詰の開け方、自動具、 調理の工夫など災害時の食生活を考えます。 講師: 田原美智子	名古屋市福祉スポーツセンター 料理実習室 (名古屋市中区栄三丁目18番1、ナディア パーク6階): 地下鉄「総合リハビリセンター」1番出口 よりすぐ
第2回 11月22日(金) 14:00~16:00 (受付13:30)	作業療法の絵画(年賀絵はがき): パステル画や日本画を体験しながら障害に 合わせた工夫、適応などを考えます。 講師: 原 和子、田原美智子	名古屋市市民活動推進センター (名古屋市中区栄三丁目18番1、ナディア パーク6階): 地下鉄「栄町」5.6番出口徒歩5分
第3回 2020年1月24日 (金) 14:00~16:00 (受付13:30)	作業療法の調理(簡単料理のバリエーション): 片手調理法など手の障害のある方向けです。 卵と野菜料理特集。 講師: 田原美智子	名古屋市福祉スポーツセンター 料理実習室(予定) (名古屋市中区栄三丁目18番1、ナディア パーク6階): 地下鉄「総合リハビリセンター」1番出口 よりすぐ
第4回 2020年2月5日 (水) 10:00~11:30 (受付9:30) 興正寺様です。	「命をつなぐバトン、お産劇・枇杷島オペラ劇団、僧侶の講和」: 「生まれてきてありがとう」のメッセージを伝えます。ナールプラ座、児童発達支 援放課後等デイサービス「トトレ」に加えて、今回は枇杷島オペラ劇団のご協力も 得て歌劇風に挑戦。参加費は無料です。 興正寺様の縁日もお楽しみください。 講師: 鈴木和代 講和: 興正寺様	八事山興正寺大書院 (豊明区よりお入りください) (名古屋 市昭和区八事町78): 地下鉄「八事」1番出口徒歩3分。その他 アクセスなどは下記でご確認ください。 http://www.koushoji.or.jp
第5回 2020年3月19日 (木) 18:30~ 20:00 (受付18:00)	作業療法の陶芸(成形まで): 新しい粘土素材の体験などを通して感覚統合の視点から 考察します。 講師: 原 和子、田原美智子	名古屋市市民活動推進センター(予定) (名古屋市中区栄三丁目18番1、ナディア パーク6階): 地下鉄「栄町」5.6番出口 徒歩5分

ワンコインセミナーお問い合わせ
(参加は自由ですが、事前にご連絡
いただくとありがたいです。)
info@otsumpnet.or.jp
☎/ファックス 052-701-5387

編集後記
・今年度のマイ♡リハは「ワー不足のため
秋号のみになりました。記者、編集等の
ボランティアを募集しております。
・ワンコインセミナーでの繋がりが広がって
います。特に2/5(水)の枇杷島オペラ劇団と
のクラブ。楽しい機会をぜひどうぞ。

MY♡リハ 東海リハビリ再発見情報誌 第8号 2019年10月1日発行
編集・発行人 原 和子、田原美智子
発行所/ 特定非営利活動法人作業療法支援ネット
(〒465-0025 名古屋市中東区上三丁目907
☎/FAX 052-701-5387 <http://www.otsumpnet.or.jp>

みなさまのリハビリを応援します

無料



●東海リハビリ再発見情報誌

NPO法人作業療法支援ネット

特 集

補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を身近なパートナーに!
..... 1ページ

レポート

チーム鶴亀と絵を描く at 老人保健施設 2~3ページ

お知らせ

ごちゃまぜ運動会 11月30日(土) 4ページ
ワンコインセミナー 4ページ

- (一回の参加費500円。ただし「お産劇」は無料。どなたでも参加できます)
・作業療法的調理①(災害時非常食等体験) 10/24(木)
・作業療法的絵画(年賀絵はがき) 11/22(金)
簡単で美しいイラスト画、日本画
・作業療法的調理②(簡単料理のバリエーション)
片手調理法、卵と野菜料理特集 ● 2020年1/24(金)
(野菜不足にながちな方へおすめ)
・命をつなぐ「バトン」お産劇 オペレッタ ● 2020年2/5(水)
枇杷島オペラ劇団との共催。興正寺様日です。
・作業療法的陶芸(成形まで) 2020年3/19(木)
感覚統合と発達支援を考えながら

身体障害者補助犬の仕事

身体障害者補助犬法のもとで活動している犬たちの仕事を一部紹介します。
なお、盲導犬は道路交通法により仕事の内容が認定されています。

盲導犬	介助犬	聴導犬
角を教える	落ちたものをひろう	音を教える
段差を教える	指示したものを待つ	後ろから来る自転車の音
障害物を教える	物を運搬する	目覚ましやメールの音
階段を教える	衣服の脱衣補助	火災報知器や非常ベル
施設内歩行の介助	ドアの開閉	インターフォン
屋外歩行の介助	スイッチ操作	赤ちゃんの泣き声
人を呼ぶなどの緊急連絡手段の確保		

補助犬の相談は・・・

(以下は編集部の選択による一部の情報です。詳しくは厚生労働省社会・援護局
障害者福祉部、リハビリテーションセンター等のHPをご参照ください。)

盲導犬	介助犬	聴導犬
自治体の障害福祉課窓口		
(社)財)中部盲導犬協会 (名古屋市中区栄三丁目18番1、ナディア パーク6階) ☎052-661-3111	(社)財)日本聴導犬協会 (長野県上伊那郡宮田村) (長野県上伊那郡宮田村) ☎0256-85-5088 info@hearingdog.or.jp 東京事務所(八王子市横川町) 関西事務所	(公)財)日本聴導犬協会 (神奈川県横浜市) ☎045-476-9005 (埼玉県ふじみ野市亀久保) ☎049-262-2323
(公)財)日本盲導犬協会 (神奈川県横浜市) ☎045-476-9005 (埼玉県ふじみ野市亀久保) ☎049-262-2323	(公)財)日本聴導犬協会 (神奈川県横浜市) ☎045-476-9005 (埼玉県ふじみ野市亀久保) ☎049-262-2323	(公)財)日本聴導犬協会 (神奈川県横浜市) ☎045-476-9005 (埼玉県ふじみ野市亀久保) ☎049-262-2323
(公)財)北海道盲導犬協会 (札幌市南区南30条8) ☎011-582-8222	(公)財)北海道盲導犬協会 (札幌市南区南30条8) ☎011-582-8222	(公)財)北海道盲導犬協会 (札幌市南区南30条8) ☎011-582-8222
(公)財)日本補助犬協会 (横浜市旭区矢野町1954-1) ☎045-951-9221	(公)財)日本補助犬協会 (横浜市旭区矢野町1954-1) ☎045-951-9221	(公)財)日本補助犬協会 (横浜市旭区矢野町1954-1) ☎045-951-9221

特定非営利活動法人作業療法支援ネット 2019年秋号 (1)

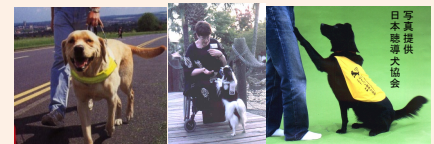
補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を身近なパートナーに!

平成31年3月の厚生労働省の身体障害者補助犬実態調査によれば 盲導犬941頭、介助犬65頭、聴導犬68頭になります。
日本の障害者の総数(推計値)は936.6万人(人口の約7.4%)となります。なんらかの生活のしづらさを感じている人たちの数からすると身体障害者補助犬の実頭数は、少なすぎるといえます。
補助犬の数が少ないのは、補助犬の育成に多額な費用がかかることだけではなく、補助犬の社会的認知度が低く関心が高まらないからです。犬は、いろいろな動物の中でも人間に寄り添うことができます。老若男女を問わず犬に癒される思いをした人は、多いはずです。

補助犬の資質や仕事を知れば、身近なペットの知られざる能力にめざめられる飼い主の方もいらっしゃるでしょう。また、できるだけ施設生活でなく自分の住処で生活を続けたいという方にとって補助犬はよいパートナーになることに気づかれるでしょう。アメリカは約2万頭、イギリスは約7千頭が補助犬として活動しています。来年のバランピックでは、こうした補助犬の姿も多くみられることを期待されます。
(資料出典:ADI, Assistance Dogs UK, 他)

飼い主のリーダーシップが作る補助犬との信頼関係

補助犬とは、人間間と同じように信頼関係をつくらなければなりません。障害にかかわらず自己決定と明確に意思表示をして気持ちにストレートに伝える必要があります。飼い主にも補助犬にも個性があります。それを理解できるやさしさでルールを守らせる働きが求められます。



補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)をパートナーにするには・・・

	盲導犬	介助犬	聴導犬
費用	原則、無償で貸与されます。 飼育管理費(フード、ワクチン等医療費など)は自己負担となります。		
希望される方	・外出意欲のある方 ・身体障害者手帳をお持ちの方 ・原則、18歳以上 ・年齢制限なし ・4週間の合同訓練が可能 ・自己訓練数か月可能な方	・身体障害者手帳をお持ちの方 ・原則、18歳以上 ・約2週間の滞在、合同訓練が可能 ・自己訓練数か月可能な方	18歳以上の中等程度の聴覚障害者 ・約2週間の滞在、合同訓練が可能 ・自己訓練数か月可能な方
補助犬との生活が始まるまで	障害福祉課または訓練センターなどで相談と助言を受ける ↓ 体験歩行会や説明会に参加して、適正を調べる ↓ 申込書の提出 ↓ 調整 ↓ 盲導犬との共同訓練(約4週間)	障害福祉課または育成団体などで相談と助言を受ける ↓ 訓練センター見学 ↓ 面談 ↓ 体験・見学会参加 ↓ 調査票の記入 ↓ 認定試験の受験 ↓ 認定を受けて聴導犬ユーザーとなります。 (引退後は、協会と話し合いユーザー宅でペットとして余生を送ることも可能)	相談と助言、適正評価、マッチング(候補犬とお見合い)、診断書と助言書の作成 ↓ 訓練(最低4か月) ↓ 訓練犬修得テスト ↓ 滞在訓練(2週間) ↓ ユーザー自宅での合同訓練(数か月) ↓ 認定試験の受験 ↓ 認定を受けて聴導犬ユーザーとなります。 (引退後は、協会と話し合いユーザー宅でペットとして余生を送ることも可能)

(表の作成はマイ♡リハ編集部で調べた範囲のものです)

- 水色の枠線.....切れてはいけない要素(文字やロゴ等)をいれる範囲
- ピンクの枠線.....仕上りのサイズ
- みどりの枠線.....フチなし印刷する場合、背景を伸ばす範囲

★★★ PDFに変換して入稿される場合 ★★★
「表示」>「スライドマスター」画面より、色つきのガイド線を消してから変換してください

「チーム鶴亀」と絵を描く

「チーム鶴亀」は、「美術を楽しむ！」を合言葉に活動しているシニア女性3人組です。
職業は日本画家、デザイナー、作業療法士、性格も生活も3人3様。
月に1回、老人保健施設で「美術の時間」を展開しています。
活動始めて6年、月1回から隔月1回のペースで、都内の2～3施設を回っています。
施設の利用者の方々に最初にお会いしてからこの歳月は、年齢を重ねることの重さを感じる歳月でもありました。

作業療法士の私にとっては、学ぶことの多い「美術の時間」です。今回は作品とその見せ方の例をいくつかをお見せしましょう。
絵を描くのが好き、いつも描いているという人でなければ、80歳過ぎて絵筆を持つことは至難の業です。絵心のある利用者の方にお声かけしてくださる職員の方々の協力あっての活動であるというまでもありません。
作品が家族とご本人のかけ橋にもなっています。みんな同じ仕上がりでなく、人となりを反映した作品に仕上げるのもこの「美術の時間」だからこそです。また絵筆をもち童心に返って集中できる時間は、老いを見つめる貴重な時間になっているようです。

(田原 美智子)

(NPO法人作業療法支援ネット立ち上げ当初からの副理事長。
主にマイリハの編集を担当しています。)

【見るものを描く・写生】

手に取って見やすく、輪郭がわかりやすく、かわいいものが手にとりやすいです。描くものを選ぶという行為もその人らしさや趣味嗜好を支援者がつかむよいチャンスです。



秋は、ススキ、かぼちゃ、柿、栗などのレイアウトで季節感を演出。

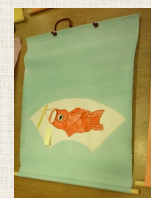
【塗り絵らしくない塗り絵】

下絵は、日本画調で。
大正・昭和生まれの感性によく合います。



下絵からはみ出すところに「・・・らしさ」を感じることが支援者に求められるセンスです。

絵馬に仕上げると塗り絵らしくなくなります。



絵馬の他にも、掛け軸・木片・扇面・屏風に仕立てたり、手ぬぐい・うちわ・クリアファイル・エコバックなどに掛けば生活に使えるものになります。

【私だけの絵を描く】



材料・道具：
布描きクレヨン
布製エコバック
アイロン



バッグの下絵は、マジックではっきり、大柄・小柄・組み合わせのできるものが良いでしょう。

エコバックに写して、布描きクレヨンで色を塗ります。



仕上りは、アイロンで。
これでしっかり染め付完了。
布の上に紙を置き、アイロンをかけ、油分をしっかりと紙に移して仕上げます。

洗っても大丈夫、色はとれません。

世界にひとつだけ、私の布バックが出来上がり！

【最後に】

「チーム鶴亀」6年間のお年寄りの変化は大きいものがあります。当初平均年齢80歳くらいでしたが現在が平均80代後半です。 おおむね「チーム鶴亀」メンバー3人で12人のお年寄りを担当。 最近は一人がつききりになってしまふこともあります。

形を選び、見て描くことを楽しんでいた方々には、「輪郭が見えない」「色の違いがわからない」「手が震えてしまう」と訴えられる方も多くみられるようになりました。

輪郭には、太めのフェルトペンを使い、震える手には手を添えて。色は、彩度、明度がはっきりするような組み合わせを提供し、「ものの形を見て描く」から「塗り絵らしくない自分の絵」に移ってきています。ご自分の署名は、漢字がひらがなになりカタカナになり、やむなく○や記号になっています。それでも署名は描いてもらいます。それは一仕事が終わりましたという合図でもあるからです。

個々のお年寄りに関する医療情報がない中での手探りの作業活動ですが、できるだけ「表現する」機会を作り出すことでは独創的で楽しさが感じられる時間になっています。

これからも私たちが創意工夫をして老いに向かう人たちのギリギリの表現活動を応援してゆきたいと思っています。

私たちに楽しい活動です。



クリスマス・お正月のお題：季節、時間の認知には魅力的テーマ

【絵筆が動くまで・・・】

「絵なんて久しぶりで描けません。」という人が絵筆を持つまでには、「形が決まらない」「色が決まらない」「どこから手をつけてよいかわからない」など決まらないことが山ほどあります。

一緒に決めながら出来上がりのイメージづくりをしたり、昔の記憶を探ったりして気持ちをひきたてることがテクニク。「さあ・・・のタイミングは、ちょっとやってみようかなという気持ちを感じたときでしょう。無理強いせず、でも「机に座ったからにはやりましょう。」

最初の筆が下りないときは、手を添えて白紙に最初の一步を一緒にすめましょう。色を作ったり、模様を入れたりして協力する私たちの姿勢も次につながります。私たちが待つ時間を大切にしないと「美術の時間」が台無しですが、どこで背中を押すかは、私たちに任せられます。

- 水色の枠線.....切れてはいけない要素(文字やロゴ等)をいれる範囲
- ピンクの枠線...仕上りのサイズ
- みどりの枠線...フチなし印刷する場合、背景を伸ばす範囲

★★★ PDFに変換して入稿される場合 ★★★
「表示」>「スライドマスター」画面より、色つきのガイド線を消してから変換してください